

PRESS RELEASE (2025/07/23)

～九州から世界へ羽ばたく女性研究者・技術者を～
女子高校生対象の理工系インターンシップ「QURIES プログラム」を実施

九州大学では、大学進学前の優秀で意欲に溢れる女子高校生を対象として、理工系インターンシップ「QURIES プログラム(キュリーズプログラム)」を令和3年度から実施しています。

毎年、大変ご好評をいただいております。令和7年度の本プログラムは、受入研究室を増やし、受講生も過去最多の福岡県内の高校26校から47名の女子高校生を迎え実施いたします。

女子高校生が、本学の受入研究室にて研究を行う様子や研究活動報告会取材できる機会を8月5日(火)午後、8日(金)にご用意していますので、ぜひご取材ください。

取材可能な日時(予定)

- ・8月5日(火)午後(伊都または筑紫キャンパス)
- ・8月8日(金)午後(研究活動報告会)



昨年度のプログラムに参加した学生たちの様子

【令和7年度プログラムの概要】

- 受講生：47名
- 受入研究室：27研究室(伊都キャンパス24、筑紫キャンパス3)
- 実施日：令和7年8月4日(月)～8日(金)の5日間

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション
8月4日(月)10時から
稲盛財団記念館(伊都キャンパス) ・研究活動報告会(一堂に会し実施)
8月8日(金)13時30分から
総合学習プラザ(伊都キャンパス) | <ul style="list-style-type: none"> ・受入研究室における研究活動
8月4日(月)午後
5日(火)～7日(木)
8日(金)午前 |
|--|--|

【取材について】

プログラム期間中の取材の機会を8月5日(火)午後(伊都キャンパスまたは筑紫キャンパス)、8日(金)午後(研究活動報告会)にご用意しています。

取材を希望する場合は、7月29日(火)13時まで以下のURLより事前にご登録ください。こちらで指定した取材日時、場所等を後日ご連絡いたします。

登録フォームURL：<https://forms.office.com/r/bMzXMiZgp1>

【お問い合わせ】

○本プログラムに関すること
 男女共同参画推進室 萩島副学長
 Mail:ayahagishima@kyudai.jp

○その他
 人事部人事企画課 永末、屋山
 TEL:092-802-2260、2264
 Mail:quiries@jimu.kyushu-u.ac.jp

【QURIES プログラムとは】

九州大学では、伊藤早苗記念基金事業「QURIES プログラム(キュリーズプログラム)」を令和3年度から実施しています。本プログラムは、大学進学前の優秀で意欲に溢れる女子高校生を対象として、本学の先端的な研究環境の一端に触れるのみならず、本学理工系分野の教員をメンターとして刺激的な研究活動の体験の場を提供することで、学術研究の将来を担う優秀な若手理工系女性研究者・技術者が多く排出されるよう、その支援を行うことを目的としています。

プログラム名称は、女性科学者のパイオニア、マリ・キュリー (Curie) 博士の名前とのダブルミーニングとなっております。

(K(Q)yushu University Research Internship in Engineering and Science)

【制度創設の背景】

我が国の女性の理工系研究者・技術者の割合は依然として低い水準にあり、今後、本格的な人口減少社会を迎える中で、イノベーションの創出による社会の課題解決のためにも、女性研究者・技術者の活躍を推進することは急務です。しかし、その母集団となる女子学生、特に理工系分野を学ぶ女子学生の割合は諸外国に比べ未だ低い水準であり、大学進学前の女子生徒等に対する理工系分野に関する情報発信と、それによる進路選択の促進の必要性が指摘されてきました。

これに対し本学は、未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究・教育拠点となることを基本理念として、様々な施策を通じて男女共同参画及び国際的視点を含めたダイバーシティを尊重する教育・研究の推進を行ってきました。特に、本学の男女共同参画推進については、本学の元理事・副学長、元名誉教授である伊藤早苗氏（故人）には、男女共同参画推進室長として多大なご尽力を頂きました。さらに、ご遺族からの寄附により、令和元年度には伊藤早苗記念基金を創設し、女性研究者や女子大学院生の活動に対する支援を行っております。

伊藤早苗氏は、プラズマ乱流物理学の分野の第一人者として活躍され、仁科記念賞、日本 IBM 科学賞、Humboldt Research Award など多数の受賞があります。また、その卓越した研究を通じて本学では多数の学生・若手研究者の育成にもご尽力されました。こうした伊藤早苗氏の功績の上で、本学が氏の後を継ぐような優秀な女性の科学者・技術者の育成に尽力して欲しいと、ご遺族からの要望を受け、伊藤早苗記念基金の新たな事業として、女子高校生を対象とした理工系インターンシップ制度を令和3年度に創設いたしました。

本プログラムは令和3年度から令和6年度までに133名の受講生を受け入れており、参加した受講生の満足度は高く、学外からも高い評価を受けています。この活動を支援したいとの新たなお申し出があったことから、令和7年度には新たに「QURIES 基金」を設置しました。この追加のご支援により、本年度は昨年度より11人多い受講生を受け入れてインターンシップを実施する予定です。

この活動を通じ本学は、広く女子高校生の理工系分野への興味・関心を喚起するのみならず、学術研究の将来を担う優秀な若手理工系女性研究者・技術者を育成し、九州から世界へ羽ばたく女性を一人でも多く輩出するよう支援して参ります。